

1 防災・防犯

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	早通地域コミュニティ協議会	地域が一体となって連携・協働する「安心・安全まちづくり」の構築
中央	鏡淵小学校区コミュニティ協議会	安心・安全な街づくり 住んでよかったこの地域
中央	有明台小学校区コミュニティ協議会	放課後のひまわりクラブ支援連携モデル事業
中央	有明台小学校区コミュニティ協議会	防災に係る黄色いタオルの取組について
中央	上山校区コミュニティ協議会	28年度 防災訓練
中央	上所校区コミュニティ協議会	地域で子どもを見守る安心安全まちづくり活動
江南	亀田東小学校区コミュニティ協議会	地域防災を考える防災実行委員会の立ち上げ
南	大通コミュニティ協議会	大通安心安全会議
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座 28
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	防犯ボランティア活動事業
西	小針小学校区コミュニティ協議会	防災訓練実施・津波避難マップ作成
西	黒崎南ふれあい協議会	雨水排水施設視察研修会

北区 早通地域コミュニティ協議会

活動名：地域が一体となって連携・協働する「安心・安全まちづくり」の構築

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域コミュニティと中学校や地域住民・団体・組織における繋がりが組織の衰退化が懸念されてきた。そこで、私たちは「地域・学校・コミュニティ」を核として、「安心・安全なまちづくり」の構築に向けてスタートした。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

■当早通地域コミュニティ協議会や地域の団体・組織と早通中学校との協働作業で、桜並木の一斉清掃・フラワーロードの植栽・地域クリーン作戦等の環境整備活動■中学生による地域防災の取り組み（地域貢献活動）や避難所運営疑似体験の実施。■熊本地震被災者支援募金活動や福島県いわき市との交流等

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

熊本地震被災者団体や福島県いわき市との交流等他の団体との接触は多数あった。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容が地域と学校・早通地域コミュニティ協議会との協働作業により地域の教育力の向上に多大なる貢献したことが認められ、平成28年12月早通中学校が「文部科学大臣賞」を受賞した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

早通地域コミュニティ協議会・地域住民・地域内各自治会・老人クラブ等連携を図りながら事業を推進しているので、当協議会としては、苦労した点等はない。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

少子高齢化を迎えている現況において、災害時及び緊急事態において中学生のパワーが必要と思われる。普段から地域住民・コミュニティと学校との連携を密にしながら一体感の醸成を育むことは必要不可欠であり「一人はみんなのために・みんなは一人のために」何ができるのかを含めて、「安心・安全なまちづくり」の構築を展開したい。

「地域と学校の協働活動」で文部科学大臣賞を受賞

早中ふれあいの風

新潟市立早通中学校
地域教育コーディネーター
伊藤興亜・草間静江
電話 0951-710-6442



地域と学校が連携・協働し、地域の教育力の向上を図る目的の文部科学省の表彰制度で、早通の地域と中学校が取り組んできた「地域と学校パートナーシップ事業」が新潟市教育委員会の推薦により文部科学大臣賞を受賞しました。表彰の対象になった主な活動は、早通地域コミュニティ協議会をはじめ地域の方々や地域の団体・組織と早通中学校が協働で桜並木の一斉清掃、フラワールードの植栽などの環境整備活動、地域防災の取り組みによる地域貢献活動を行ってきたことやアーリーロードの運営などが評価されたものです。このように「地域と学校の協働活動」が表彰されましたことは地域の方々のご理解、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今号の紙面でこの活動の一年を振り返って紹介いたします。



◎「スプリングコンサート」
本年度5回目になる早中吹奏楽部の演奏会「スプリングコンサート」が多数の地域のみなさんや保護者をお招きして華やかに開催されました。



◎「桜並木の一斉清掃」
春また浅い4月「早通の宝」である樹齢30年になった桜並木の保全のため、地域の方々や協働で多数の早中生徒が8回目的清掃作業に励みました。



◎「熊本地震被災者支援募金活動」
早通中学生徒会代表が被災者支援の募金を校内や早朝の早通駅前呼びかけ、これに呼応して多数の地域の方々が協力してくれました。



◎「地域クリーン作戦」
平成22年から活動を始めて7年が経ちましたが、一学年生徒を中心に約120名が早通地区の各地で「ゴミ拾い」に汗を流しました。



◎「グリーンカーテン」の造成
平成22年から花壇を利用して校舎の3階まで届くグリーンカーテンを地域のボランティアのみなさんの協力で毎年造成しています。



◎「地域防災マップづくり」
「平成28年度防災教育指定校」を契機に二学年生徒が早通地域の各所から避難所までの危険箇所を調査し、「防災マップ」をつくりました。

中央区 鏡淵小学校区コミュニティ協議会

活動名：安心・安全な街づくり 住んでよかったこの地域

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

自然災害が多発しているので、隣近所との声掛けをし、地域の皆さんと交流を深めていく必要があると考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

町内会自治会それぞれが原点に立ち、明るい街づくりをすることが大切である。そのために「アイサツ」運動を行った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小・中学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

小中学生に積極的に声掛けを行うことで、地域の活性化につながった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当初声掛けをしても返事が少なかったが、小学校の生徒には「ハイタッチ」を行うことで絆を深めている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域住民が一体となって行動していくことが重要であるため、日頃からあらゆる機会をとらえて声掛けを行っていく。

中央区 有明台小学校区コミュニティ協議会

活動名：放課後のひまわりクラブ支援連携モデル事業

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

児童が授業終了後歩いて1キロ離れたひまわりクラブまで通う状況に心を痛め、交通事故や誘拐事件などもあることから、地域の子どもを地域で守る体制づくりが急務であると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

関係者の協力をいただきながら、帰宅支援ボランティアスタッフがひまわりクラブの児童の下校時に自宅まで引率する支援をスタートしました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

ボランティアスタッフは13名。1日4人体制により3ルートで帰宅支援を実施しました。秋は陽も短く児童の家庭から大変喜ばれています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

スタートして7か月経過しましたが、支援体制に課題があり当初の予定どおりに進めることができませんでした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

帰宅時間帯がまだ明るく危険が少なくなった6月から夏休み後まで一旦休止し、体制を立て直したうえで、子どもたちの「安心・安全」のために活動を再スタートしたい。



中央区 有明台小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災に係る黄色いタオルの取組について

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

新潟市では平成19年度より災害時に援護が必要な方を対象に希望を募り、災害時要援護者として登録を行い、自主防災会、民生児童委員会、町内会などの安否確認や避難付き添いなどを求めてきました。しかし、他にも未登録者があり災害時にこれらの方々への取り扱いをどうするか、災害時に自主防災会の役割分担では人手が足りず、災害時要援護者支援ができなくなる懸念がありました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

全世帯に安全確認用の黄色いタオルを配布し、災害時に戸外の一番見やすい場所に掲示して身の安全を知らせる取組を行っています。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

自主防災会の救出救護部に「黄色いタオル調査員」を選任し、調査員から訓練本部へタオル掲示状況を報告するよう依頼しました。登録されていない要援護者も避難訓練に参加することになり、よりきめ細かい防災訓練になりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

特になし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

実施した防災訓練についてアンケート調査を実施し、その結果を次回以降の訓練に反映させていきたい。コミュニティ協議会は様々な活動を通じて、地域住民がお互いに交流を重ねるとともに、防災訓練を一層充実させ減災に努めることにより、安心して生活できる安全なまちづくりを目指していきたい。



中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：28年度 防災訓練

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害（地震・津波）に備える意識を高め、安心安全な地域づくりを基本として「自分の身は自分で守る」ための防災訓練を実施した。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 1 推奨訓練（一時避難場所）自治会としての自主計画訓練
- 2 基本訓練（初期消火、AED、心肺蘇生、応急手当、濃煙体験等）
- 3 参加者 約400名

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市消防局中央消防署、鳥屋野地区消防団、市立上山中学校、市立上山小学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

今回7回目の「反復訓練」を通して学び研究し、あらゆる災害の教訓を活かして、地域の安心安全が高まったと確信している。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

訓練機材の調達、今回は特に濃煙体験の設定で苦勞があった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後もくり返しくり返しの訓練を実施し学び研究して、あらゆる災害（地震、津波、洪水、土砂災害）等に備える。



中央区 上所校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守る安心安全まちづくり活動

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成28年の春に、地域内に不審者が出現したことから、子どもたちを危険から守るため、地域が丸となって見守り活動に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

犯罪などの危険な事態が子どもたちに及ばないような環境をつくるため、防犯協会の役員と有志による腕章をつけての見回りや、自家用車に「パトロール中」のステッカーをつけての巡視等をおこないました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

上所小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

次第に参加者も増えるようになり、地域の中で、「子どもたちを危険から守る」という意識が強くなりました。

また、子どもたちの声かけにより、「さわやか挨拶の輪」が広がってきています。さらに、巡回中にゴミ拾いをする住民もおり、環境面でもいい影響が出ています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

当初は、一番危険だと言われる下校時の見回りが人員不足で手薄になっていました。重要な時間帯であるため、地域で協力者を募集したところ、多くの住民の方から参加いただくことができました。

現在は、この時間帯において、特に重点的に巡回・巡視を行っています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

予算の捻出に課題がありますが、巡回・巡視活動に安心して取り組むためのボランティア保険への加入も検討しており、より一層の見回り活動に努めたいと考えています。



江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域防災を考える防災実行委員会の立ち上げ

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域でも超高齢化、独居老人世帯が増加する中、高齢者の安全を確保するため、防災意識を啓発し、災害時の避難体制、避難行動について、コミ協区域全体で検討する必要性が高まってきた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

平成29年6月に開催を予定していた「地域合同防災訓練」に向け、コミ協が主体となり、防災実行委員会を立ち上げた。実行委員会では、避難体制の構築、避難ルートの確立、高齢者世帯の安全確保などを検討した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

亀田東小学校、亀田中学校、江南警察署、江南区社会福祉協議会、江南区役所、江南消防署

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域全体で、防災訓練への検討を重ねることで、自治会・町内会の枠を超えた関係ができるとともに、防災意識の向上が図られた。また、災害時避難行動のシミュレーションとなる防災訓練向け、避難ルートや、避難体制の構築に貢献できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

コミ協区域内の自治会・町内会の中でも、それぞれ自主防災組織の活動を展開しているので、地域合同での防災訓練の意義を理解してもらうこと、日程の調整などを入念に進める必要があった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

まずは、地域合同防災訓練を成功させること。そして、訓練後には反省点などを洗い出した上で、改善を図っていききたい。また、地震を想定した訓練や、水害を想定した訓練など、目的別での訓練も行っていくことを検討していききたい。



防災実行委員会の様子



購入した「黄色いハンカチ」とその
使用例



南区 大通コミュニティ協議会

活動名：大通安心安全会議

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域内に空巣、痴漢、不審火等の犯罪が発生。
住民が、自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持たなければならないと思い、ワークショップの必要性を感じた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

警察と消防より、大通地区の現状と個人や自治会ができる対策や取組み例を聞いた後、自治会ごとに今年できることをまとめた。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟南警察署生活安全課・交通課、新潟南消防署北部出張所

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域内の現状を理解することによって、防犯活動の目的が具体的になり、また地域の様々なことに目を向ける役員が徐々に増えてきている。防犯灯や防犯カメラの適正な設置や、防犯パトロール、危険箇所のチェックなどがしっかりと行われるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

年度の初めにワークショップを行い、年度の終わりに活動実績や反省などを報告し、次年度に資料を引き継いでいく。役員が変わっても各自治会でのこれまでの取組みが分かり、また他の自治会の取組みを知ることによって、良い影響を受けると考えた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域のつながりが希薄になりがちだが、意見交換する場を何回か持つことで、お互いの人柄や考え方が分かり様々な意見が出やすくなる。今後は、高齢者への配慮や見守りなどで具体的な活動ができるようにしていきたい。



活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 大規模な災害時に、地域全体で的確な対応ができるよう中学生を対象に応急措置技術を身に付けさせ、大人達の助力となるように養成する。
2. 災害に対応できる人員の増大を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. 心肺蘇生・AED 使用訓練
2. 応急手当・搬送訓練
3. 初期消火訓練

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域消防署及び消防団

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 訓練を行うことで緊急時に的確に行動できると思う。
2. 災害時に地域の大人と連携し防災活動ができると思う。
3. 中学生時代に防災意識を高めることで、地域内外に問わず応急対応ができる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 中学生の部活動と重なり、参加人数が少なかった。
2. 次年度以降は、小・中学校と連携を図り参加者を多くする。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の緊急対応が重要視される昨今、緊急対応措置の必要性が求められていると思うので、次年度以降も小・中学生を対象に養成講座を継続して行う。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：防犯ボランティア活動事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 安心安全に暮らせる地域環境づくり。
2. 自転車を利用する通勤通学者の自転車盗難防止
3. 不法侵入盗難事故防止。
4. 特殊詐欺（オレオレ詐欺など）被害防止。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. 寺尾駅、新大駅前自転車盗難防止パトロール。
2. 商業施設における車上狙い盗難防止パトロール。
3. 自転車施錠のチラシ、防犯チラシの配布。
4. 特殊詐欺被害防止講習会の開催。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西警察署

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

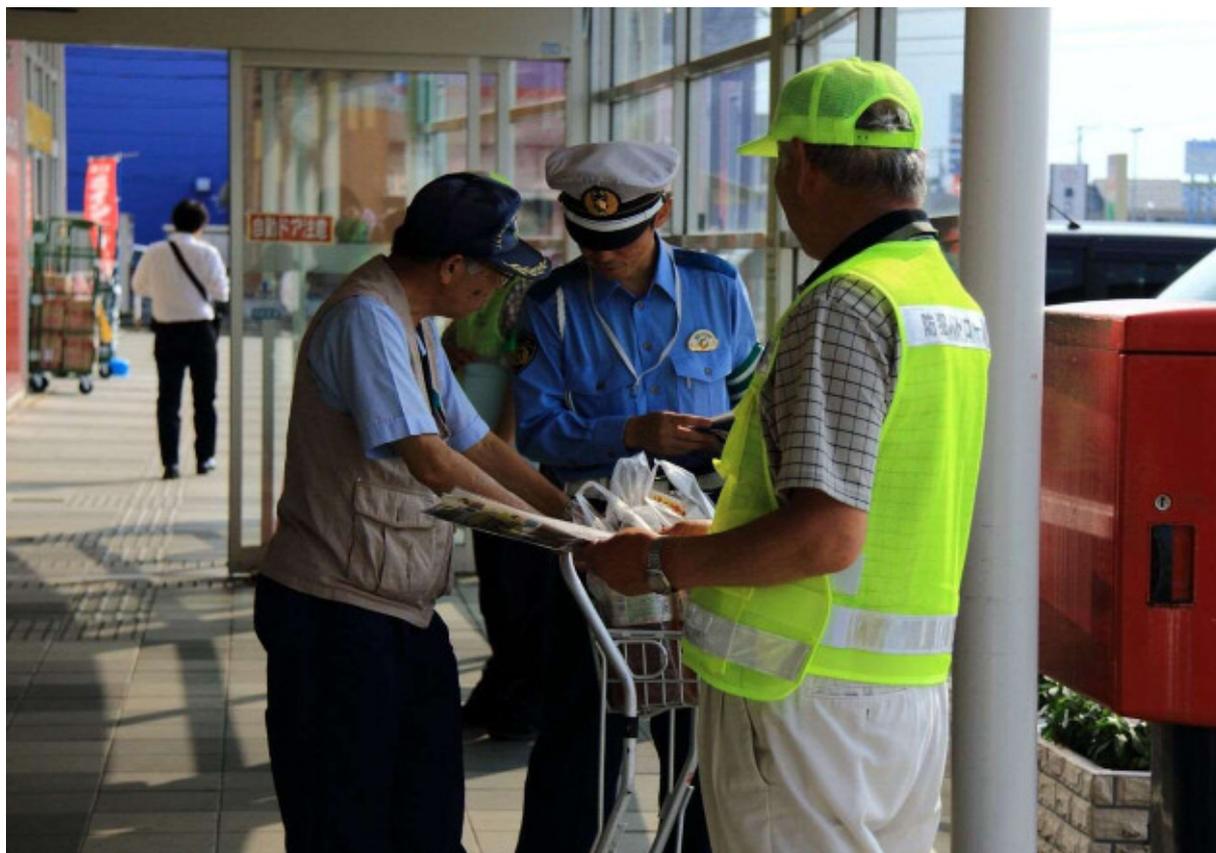
1. 前年度に比較し自転車盗難被害を減少させた。
2. のぼり旗、チラシ配布で防犯意識を高めた。
3. 盗難件数を削減した。
4. 特殊詐欺被害防止意識を高めた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 警察署、寺尾駐在と連携を図り、より一層のパトロール体制の強化が必要。
2. 特殊詐欺被害防止を図るため漫談家やマジシャンを招いての講習会を開催した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

事業は継続して実施していくことが大切であり、犯罪情勢によって工夫を凝らした活動に努める。



西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練実施・津波避難マップ作成

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災、熊本地震後、地震災害に関心が深まりどのように対応すべきか、また、小針地域は河川遡上による津波と液状化被害が想定課題である。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

避難訓練（地震・津波・洪水など）を毎年実施する。防災訓練等は、防災防犯部会で企画運営を行い、小針小学校の全面的な協力を得た。また津波避難マップ作成は新潟市の協力を得ました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所・西消防署小針出張所

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練を毎年開催することで防災意識の向上が図られた。また、津波避難マップは平成28年度に作成し各家庭に配布した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

防災訓練等は自治会の協力を得たこと、また、津波避難マップ作成は各自治会の避難経路及び災害発生時避難に住民の関心が薄いため、理解と説得に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練、防災講演会、防災セミナーなどの開催を通して防災意識の向上を図る。



西区 黒埼南ふれあい協議会

活動名：雨水排水施設視察研修会

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

最近の降雨は浸水被害を伴う様な降り方が多くなり、市民は潜在的に不安を抱えていることから当地域農村部の雨水排水対策を担っている西蒲原土地改良区の雨水排除施設を視察して排水対策の現場を認識する。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

農村部の雨水排除施設を一括管理している西蒲原土地改良区中央管理所施設と農林水産省北陸農政局から管理受託している新川河口排水機場施設を見学する共に西区高山の蓮久寺境内にある新川開発創業者供養塔を訪ねて、雨水排除対策に関わった人々の功績を偲ぶ。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西蒲原土地改良区・農林水産省北陸農政局新川流域農業水利事務所・伊藤山蓮久寺

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

視察研修参加者が地域の雨水排除対策の現状や課題を学び、豪雨等に伴う破堤などが発生した場合に地域住民の避難誘導などの安全対策を学ぶ機会となった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当地域は中之口川破堤等の災害は近年発生していないが、災害に備えた安全対策が行き届いているのかを話し合う対応や避難マップ作成等でこの地域が安心・安全区域ではないと認識させる事に苦労している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当地域の雨水排除は西蒲原土地改良区の排水ポンプに頼っている現実で決して万全と言えない状況にありますので、雨水排除関係者の事業拡充をお願いすると共に地域住民に状況を広報していく活動を継続していきたい。

西区 黒埼南ふれあい協議会
活動名 : 雨水排水施設視察研修会



中央管理所管理施設管理概要の説明



西蒲原土地改良区中央管理所内の雨水排水各施設の運転状況



新川河口排水機場のチューブラポンプφ4,200の設置状況



伊藤山蓮久寺境内の新川開発創業者供養塔